

# バストス週報

第1375号  
昭和四十八年  
八月二十七日  
月曜日発行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Shion Oda  
Rua, Pres.  
Vargas; 188  
C. Post. 112  
Fone; 40  
BASTOS  
C. P.  
Annual  
Cr. #  
30.00  
Adiant.

水 紋 35

## ○骨董品

### 第一話

一口に骨董品というが、美術的価値のある骨董品もあるが、ただの古道具もある。人間の骨董は年配からきめて行くところ、まあ七十歳ぐらいからで、敬老組とか、恍惚組といったところである。中には大臣級の人物も存在するから、一概に馬鹿には出来ないが、政治家、実業家でも七十以上は、カビが生えて、何とはなしにうとまれる。刀圭界でも法曹界でも、学界でも大体醜居してもらいたい人が多い。

私等夫婦も人間骨董品といわれる階級に所属しているが、勿論ただの古道具にすぎない。品物の古道具はこわれていない限り、使えば使用できるが、人間の古道具は役に立たないものである。農家だったら爺なら家の廻りのリンパをしたり、婆なら孫の守りくういはするだろうが、町住いだったら、跡のおき場所に困るだろう。碁将棋、で時間かせぎをしたり、新聞の小広告にまで眼をとって読まねば日が暮れない。婆の方は爺よりいくらかましだ。

新聞や雑誌のよめる間はまだよい。私のように極度に眼の悪いものは、一時間も読んでいると疲れて目の光さがぼろとぼろになってしまう。シネマ見物でもして時間を消したらよさそうなものだが、半分ほど見ている内、眼がぼやけて、いやになつてしまふ。おまけに帰り道は舗道の凹みに足をとられて転倒しそうになり、うちの婆さんは、数年前からソコビで失明同様となり、シネマ、舞踊など、見る物は一切駄目である。私のところでもTVを買わないのは、金のないことも理由の一つだが、婆さんの半失明に遠慮することによるものだ。

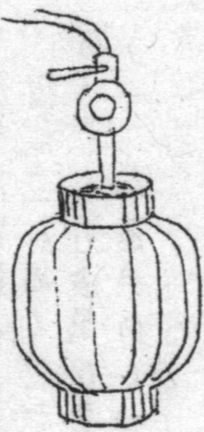
耳だけは達者なようで、訪客の声をよく識別して応対する。従つて身の保養しうが出来ないでいるのだ。シスコだと表裏ひっくり返さねばならず、針の先端をジウスコに当てることが出来ない。仕方なくグラバドルに移して聴いている。一時失禁して大便を畳にぬりく、たりしないけるから、手さぐりでボクサー一つ押せばトッパでできる。

耳だけは達者なようで、訪客の声をよく識別して応対する。従つて身の保養しうが出来ないでいるのだ。シスコだと表裏ひっくり返さねばならず、針の先端をジウスコに当てることが出来ない。仕方なくグラバドルに移して聴いている。一時失禁して大便を畳にぬりく、たりしないけるから、手さぐりでボクサー一つ押せばトッパでできる。

## CASA TARODA Paulista Gaz

### パウリスタガス

今、お宅で御使用中のガス  
フオゴンのネジにピツタリ  
合います。  
市内配達をして居りますか  
う、電話御注文下さい



絶対にガス洩れの心配は  
ありません。  
フオゴンのガス洩れの修理、  
並びにフオゴンの交換いたし  
ます。

スペルメルカード

### 太郎田屋ガス部

電話 一六六番

役に立つどころか、橋山節考ではないが、昔なら、とまぐりに山奥に捨てられたであろう。

古道具といつても、古い方が使いやす  
いものもある。インシャードなどは新品  
より、少しちびた方が手頃となる。畳も  
女房も新らしい方がよいと言うから、骨  
董品は、まあ座る場所のないのが当然だ。  
よその家庭にもあることだろうが、老  
者に近い夫婦では「おれが先きに死ぬ、  
お前はあとに残れ」と老亭がいえば「死  
談じゃないよ、今道さんご世話をしたか  
ら、死ぬ時ぐらいあんたに面倒を見ても  
ら、死ぬ時ぐらいあんたに面倒を見ても  
らわなければ」と、老妻が応ずる。

私の所では、どっちから言い出すのか  
月に二三度は「おれが先き」「私が先き」  
をやるのである。何も死に急ぐことはな  
いが、一応覚悟しておく必要はあると思  
う。

「おれが先き死んでも、お前が困らぬよ  
うに用心してあるから、心配はするな、  
おれも、恍惚の人々の発造くんのように  
失禁して大便を畳にぬりく、たりしない  
前は大往生をとけたい。もう八十近いん  
だから」  
「そっか、ええ、眼より外に急速に悪くなつ  
たところがある。脚部がそれだが、妻の







月(?)の役員会で承認を得ているから、勝手な処置をとったものではない、と関係者は云っている。もし剰余金が出れば、それを元の基金に還元できるようにする計画だそうである。

一方の話だけでは感情がはさまって、相手を刺激するように聞こえる。相手方の云い分をきくと、順序をふんでいろうだ。

又、教前に寄附した金を、使途がわからず今更返却せよという人は居らぬだらう。使途や目的は歳月の進行につれて移行もあり得ることだから、有効運営である限り黙認すべきであらう。

対立や抗争は仲間内で繕うこと……自重自重第一なり(名前は仮名としました)

# 恍惚の人

幸希所の女の子が、何んでも捻る老婆の話をしていたの思い出す。そして誰れには誰もいなかった。何も散らかす物はないのに部屋が難然とした感じなのは、京子の人柄というものかもしれない。昭子は仏壇の前に坐り、お燈明あげ、線香に火をつけて手を合わせた。葬儀屋の手で引伸ばして大きな額に入れられた姑の遺影が骨臺の向う明るく顔をしていた。何年か前に敏が撮影したスナップをアルバムから取り出して葬儀屋に渡したものだ。

「お母さん……」  
昭子は呟き、語りかけた。お母さん、お爺ちゃんとお爺さんとは何処へ行っただしようねえ。

茂造を一人にしておかなくてよかったです。という思いと、京子がいなくなりましたらどうしようという心配が、あや混ぜになつて胸に詰つてきた。昭子は姑の顔写真を見ながら次第に落着かなくなつていた。そりや君、大変だねと言つた藤枝弁護士の言葉が耳に聴こえてくる。火の用心にお燈明を添して、昭子は自分たちの家に戻った。

京子はどういう気で家を放つたらかして茂造と何処へ出かけたのか。田舎と違って東京は戸締り第一という生活の鉄則があるのに、本当に困つてしまふ。

が、何をどうするという場合で打いから、昭子とは何かく夕食の支度をするころにした。京子が敏と同じぐらいの大食であるのと、茂造も放つておくといくらでも食べるから米を磨ぐのはこれまで倍でけさかない。電気釜を付掛け、和風の惣菜を作り、魚の切身を醤油に漬けて用意万端整えても二人は帰つて来ない。仕方ないから昭子は風呂の用意もした。

「敏、お打か空かないの？」  
大声で呼んみると、敏は階段を降りて来て、  
「お爺ちゃんみたい泣きたい位です」と言う。

「嫌な言い方をしないでよ。お打が空てるんなら、すぐ御飯にしてあげます」  
「はあ、はあ、お願ひします」  
どこまで親愛かうかつもりかと昭子はまた不機嫌になつた。敏はのっそりと部屋の中を歩いて夕刊をひろげた。

「お爺ちゃんたちは何処へ行つたのかしらねえ」  
「お祖師さまの葬日は終つたしなあ」  
「敏、この魚みてくれれない？」  
「どうするんだよ」  
「ご近所のぞいて来るわ」  
「本原さんと門谷さんなら僕も覗いたよ」  
「いなかつたの？」  
夕刊の頁を繰りながら、敏が言った。  
「別々つてことも考えられるな」  
「何が？」  
「お爺ちゃんとお母さんが別々だつてこことさ。お母さんが、お爺ちゃんに留守を頼んで東京見物に出かけた。ところがお爺ちゃんも養妹にいらから、留守を頼まれたのを忘れてこれも後から出かけてしまつた」

御 礼  
金一封

過日故奥田氏蔵氏御葬儀の節香典送しの代りとして御寄附頂戴しました。厚く御礼申上げます。

バストス仏教婦人会

御 礼  
金一封也

故奥田氏蔵氏御死去の際香典に右の御献金ありました。厚く御礼申上げます。

バストス南米本願寺

御 礼  
金一封

御夫君故奥田氏蔵様御葬儀の際香典送しの代りとして御寄附頂戴に有難く御礼申上げます。

バストス愛石会

御 礼  
金一封

奥田波子様



「変なことばかり言わないでよ」  
「しかし、あらゆる可能性を考えてみる  
ことになるじゃないか」

支度が出来上り、膳が整えろと、  
「頂きます」

敏が勢よく食べ始め、やがて顔上げて  
「ママは食べないの？」と訊いた。

「だって心配なもの、それに叔母さんよ  
り先きに食べちゃ悪いわ」

「腹空いていないの？」  
「いいのよ」

ホットドックを食べておいてよかった  
と思いが、そのことを敏には言わな  
かった。しかし敏が食べ終ったところで

、台所の窓硝子を勢よく叩く音がした。  
「昭子さん、昭子さん」

「お爺ちゃん、お帰りなさい。何処へ行  
って来たんですか」

勝手口を開けると茂造は、ぬつと入っ  
てきて敏を見、食卓を見、遠うことなく

靴を脱いで上ると、すぐに箸を取った。  
「お爺ちゃん、京子さんは？」

茂造は返事もせず食べている。その  
きちんとした背広の後姿と脱いだ靴を見

較べて、昭子は何か連想するものがある  
ような気がするのだが、自分でもどかし

いほど思い出せない。  
「お爺ちゃん、京子さんはどうしたんで

す、一緒に出かけたんじゃなかったんで  
すか？」

正坐して、一粒もこぼさずに丁寧に食  
べいる男の顔を覗きこむようにして昭子

はしつこく訊いたが、茂造は食欲に専念  
しているときは何も見えず、何も聞えな

いのが、姿勢よく左手に茶碗を、右手に  
箸を持ち、規則正しく咀嚼を続ける。

「お爺ちゃん、あなたこんな長時間よく  
何処へ行っていたんですか」

昭子は大声を出し、  
「ママ、よせよ」

敏が見かねて口を出した。  
随分なつてから、京子が去開か

て来た。昭子も敏も呆然とするほど髪を  
ふり乱し、和服の衿元も裾もひどい着崩

れ方である。  
「どうなすったの、京子さん」

京子は口もきけないほど疲れているら  
しく、上つてきて茂造が食卓を置いてい

のを見ると、へたへたとその場に坐りこ  
んでしまった。息も絶え絶えという有様

なので、昭子は水をコップに吸んで渡す  
と、一息に飲んで大きく肩で息をして、

しかしまだ口が利けない。ただ眼だけヒ  
ツと怨めしげに実の親の茂造を見ている。

そして茂造は、  
「昭子さん、おかわりを下さい」

と空になつた茶碗を突き出した。三度  
目である。

御案内

九月十五日 午後一時から

おぼん法要 勤修

晚は ぼんおどり

九月十六日 午後一時半から

萬鶏菩提供養法要

渡辺文昭開教師

水野、古賀、各師にて執行

晚は ぼんおどり

他寺からも多数御参加なさいまして

、あなたの献納なさいました万燈に

火が入って幾百千の人波でにきわ  
います。

わにかみ

献灯献華 納めて下さい

一九七三年八月二十五日

バストス南米本願寺

皆々様

毎週土曜日の夜

ほんおどりのけいこがありますから

皆さんおいて下さい

御社

金一〇〇ケルビロス

右は老人学校へ基金として御寄

贈下さいました。

厚く御礼申上げます

畑中学校(モブライル)

バストススルブラシル農協組合様



死亡通知並に会葬御禮

夫、長谷川文雄(四十八歳)儀突然発病サント  
アマ一口、ゾーナスール病院に入院加療中の  
此薬石の効なく去る八月十四日急逝致しまし  
た。依つて翌十五日サントアマ一口、カンボ  
グランデ墓地に埋葬致しました。  
此の儀生前格別御交誼を賜りました辱知各  
位に謹んで御通知申し上げます。  
尚葬儀に際しましては遠路態々御会葬下され  
且つ御香料御供華等賜り厚く御礼申上げます  
実は一々参上御礼申上ぐべき善の処取込中に  
て其の意を得ず取致ず紙上を以つて厚く御礼  
申上げます

一九七三年八月十七日

聖市サントアマ一口區アベニダフリブルゴ街五

喪主 妻 長谷川みよ子

長女 早川 峯子

夫 〃 清

二女 長谷川 越子

三女 〃 希子

親戚代表 早川 忠蔵

友人代表 檀 床 利 秀

バストス 知友各位 様



労働省サンパウロ州地区局より左記の回章がとどきましたので会員各位に御知らせ致します。

回章GD3/73号 一九七三年六月二六日

労働省サンパウロ地方局長

アルイジオ シモンエス デ カンホス

バストス農村シンジケート会長 殿

本書を通し、貴殿に御依頼申し上げますのは、貴殿をして会員各位に対し『農村労働法』を忠実に厳守していただく様、御奨めかたを御願ひ致します。

地主の中で労働者の登録を行わず、いたずらに労働者達を悪質化して居る傾向さえ見受けられます。

農村労働法のありかたにつきまして、会員各位に認識していただくべくパンフレットを作成するか、説明の会を開くなりして、農村の労働の仲が円満化して行く様御尽力を要請致します。

終りにのぞみまして、貴殿の御協力を御願ひ申上げると共に、御協に對し、敬意を表させていただきます。

以上

花の御礼

坂口つね

左記の方々に厚く花の御礼を申し上げます

- 山根 キク 様
- 松森 キク ノ 様
- 柵原 芳子 様
- 乘原 芳子 様

花の御礼追加

グロリアエ区婦人会

- 矢野 英治 様
- 上ヶ島 ヒツ子 様

御礼

金一封也

御夫君奥田民蔵様の御葬儀の節、右の御寄附がありました。厚く御礼申し上げます

バストス連合仏教婦人会  
奥田波子 様

FABRICA DE GRANITO

Av. Rio Branco 7/8 C. Post. 23, Fone; 515  
ADAMANTINA C. P.

大西石碑工場  
大西文吉  
電話 二二三番  
五五番

石材美術彫刻類一切製作  
古い墓の修理もいたします  
アマンチーナ市リオプランコ大通り

墓 碑 記念碑  
胸 像 石 燈籠  
石 白 も ち 白

Diario de São Paulo

Agencia de Correios Bastos

シヨルナール  
ジオリオデサンパウロは  
すぐれた新聞です  
御購読希望の節は  
バストス郵便局  
ヴェイトール・ヘンテア  
まで御申込み下さい



「お爺ちゃん、もうやめておきましょうね。三膳でも多いくらいなんですよ。もう、お茶にしときましようね。おなかがこわすと大変でしょう？」

「お父さんが茶を注いでやると、民造は黙ってそれを睨った。ようやく京子が言った。『お父さんは、娘さんが好きみたい。』この開子はぎよ。として京子を見た。この上ない嫌なことを言われたという気がした。」

「まあ、京子さん、変なこと仰言わないで下さいよ。」

「好きなよ、お父さんは、開子さんが。だって兄さんのことも私のことも判らなくなっているし、私たちいうこと何もきかないのに、開子さんの癖じや聞きわけがいいんですもの。お父さんは、だから開子さんが好きなのよ。」

「冗談じゃありませんよ。私は結婚してこの方ずつと苛め抜かれてきたんですよ。面と向って、どのくらい意地の悪いと言われたかわからないんですよ。何遍泣かされたかわからないわッ。」

「敏がぞつと立って二階へ行ってしまっ

た。」

「それは私もちよつとは聞いて知っていたし、お母さんの手紙に開子さんに気の毒だっってよく書いてあったから。うちも主人がね、お父さんにねちねち嫌味の百万遍言われて悲鳴をあげたし、主人の親にまで喧嘩を売らうから私は間に入って、分なさけない思いもしたから分るけど、でも開子さんの場合は、お父さんの気持ちよつと違うんじゃないかと思うわ。」

「どう違うんですの？」

「可愛さ余って憎さが百倍って言葉があるでしょう。お父さんは実は開子さんを好きだったのよ。」

「やめて下さい。」

開子が金切声をあげたので、ようやく京子も自分の悪態が開子を不快にさせたのに気がついたのか話題を変えた。

「ひどい目にあつたわ、今日は。驚いちゃった。本当に。お父さんの足の早いって早いつて、私は追かけても追かけても追いつけなくて、息は切れるし、死ぬかと思つたのよ。」

開子も小筋と気まずい仲になりたくなかつたし、どういふ事情があつたのかと思つた。京子の話に身をのり出した。

「どこへ行ってらしたんですの。心配してたんですのよ。敏は自転車で病院やお寺まで探しに行つたんですけどねえ。」

「お昼すぎまでは温和しくしてたのよ。テレビの前でくうくう眠つたりしてね。お腹をこわしちゃうけな思つて、お雑煮つくつたら、一時間かかつて全部平

ORGANIZAÇÃO RIO BRANCO S/C  
ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

営業案内  
使用人の雇庸契約を  
確實にしておくこと  
いざごさの起きないようにするのには、  
契約書が大切で  
労働法・民事・刑事法  
会計事務一切  
農家も帳簿を確実にする一切  
は当事務で御扱下さい  
プレゼンテヴァルガス街一八九番地  
Dr 石川雅宏  
Dr 小林平行  
郵函 一〇三番  
電話 一〇五番  
一八〇番

RELOJOARIA TAKATA



腕巻時計 各種  
宝石並びに貴金属類  
御婦人用 アクセサリー  
万年筆 及び 指輪  
室内装飾用品 いろいろ  
めがね 新型 いろいろ

新らしい型多量に入荷  
一度御覧においで下さい

ロードヒアリオ前

高田時計店

電話 九十三番



うけちやうて、井と卵と入れたおじやよ。  
お米は一合ぐらいで、ゆろしてあるから大丈夫と思うわ。私がお使所へ入って出てくるとお父さんが居たのよ。此処に、誰れへ行つてみたら、納戸でゆつくり着替えてるじゃないの。お父さん何処へ行くんですか。訊いたら、婆さんを迎えに行きますよ。つづく

低所得社長

下町の喫茶店で、若い男女。  
「賃上げ争、うまくいった？」  
「社長や重役の給料を、やつとのことで聞きだしたんだけど、すごく安いだ。盛上っていたのに、とたんにもんなる気がくしちやうて、同情したわい。ないけどさ。」

虚栄合戦

焼鳥屋の女主人と客。  
「お客さん、二級酒をすね？」  
「そうだけどさ、二級だなんていわいで、並っていってよ。わびしいじやないかオバさん」  
「あら、オバさんなんていわないで、マダムとか、ママとかいってちよだいでよ」  
「それなら、豚を食わせんだから、焼鳥屋なんていわないで焼豚屋といえよ」

憤まねっ子

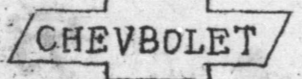
ロンドンで、アチラの友人に、国産ウイスキーを飲ませたら、おどろいていた。きみたちは、なんでも作りすぎる。英国人は、日本酒を作らないってわい。  
「味はどうだった？」  
「確かにうまい。でサ、だから、片おさう頭にくるそうだよ」  
銀座のバーで、重役風の男二人が、スコッチを飲みながら、

友抗期

雨の午後、汽車で六、七人の男女高校生と乗り合わせた。  
「チエツ、雨がまたブヨがカサを持って迎えにきているだろうよ。いやん、ちやうなア、なんとこれが女学生、いいじゃないか、ブヨでもア、えにくれば、おれの下宿のバア、たう、一度だつて来ないよ」  
「おまえ、中絶しよこないの、なんだろ」  
ブヨ、下宿のバアさんとは、自分の母親のことかしら。



MARVEL - MARILIA VEICULOS LTDA



シエベツテ CHEVETTE  
高級車オバラ  
小型シエベツテ  
カミニオネツテ  
カミニオン  
御希望により中古車と新車と交換もいたします。  
毎週名ルタファイブ(水)には、パール柳浦に出張して居りますから御相談下さい。  
便利におはからう致します  
出張員 瀬尾清

MAGVETTI LTDA

AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI



MAQUINAS DE ESCRIVER SOMAR E CALCULAR  
MANUAIS ELETRICAS E ELETRONICAS  
"OLIVETTI" ASSISTENCIA TECNICO ESPECIALIZADA  
PERMANET  
Bastos - Rua 10 de Novembro 551, Fone: 388. C.P.9.  
Tupã - Rua Caetes Nº 679, Fone: 2526.

計算機 電気計算機 タイプライタ フィック各種  
電気タイプライタ フォルミカ事務机 アルキーボ  
コフレ (金庫) 等々

ATNDE BASTOS E REGIÃO 林 広人



御禮

生長の家バストス青年会  
子供会

去八月十二日の「父の日」をお祝いし  
て、私達生長の家青年会では、子供会と  
合同で、恒例のお父さん、お母さん  
に感謝する会を催しましたところ、大  
勢のお父さんお母さん達の御臨席を得  
まして本当に嬉しく思いました。  
その上左記の方々から澤山のお心づけ  
まで頂戴いたしましたので、茲に失礼  
とは存じますが、紙上をもって厚く感  
謝御礼を申し上げます。ごさいませ。  
皆様、本当にありがとうございます。

- 小茂田光明 様 花山茂平 様
- 山根三郎 様 緒方教則 様
- 川西静男 様 真木論吉 様
- 中浦三司 様 入江均 様
- 安達忠之助 様 中浦成一 様
- 阿部五郎 様 郷原敏幸 様
- 平野光善 様 市川次郎 様
- 米川 様 岡本モト代 様
- 岩原 様 信太千恵子 様
- 信太順治 様 長橋きよの 様
- 信太節子 様 内馬場二郎 様
- 中浦芳幸 様 宮本幸二郎 様
- 水口主計 様 川頭聖子 様
- 水口キヨノ 様 長尾直温 様
- 竹原 様 古賀八重子 様
- 真木輝男 様 倉本よし子 様
- 上島照吉 様 中崎工三 様
- 上田哲雄 様 山口 様
- 小橋幸江 様 今福 様
- 木場茂盛 様 永松美代子 様
- 生井沢定次 様 高橋いもせ 様
- 小倉杉夫 様 溝畑多一郎 様
- 田地克子 様 ツ木 様
- 筒井節 様 堀江新八 様
- 古谷清一 様 郷原美代子 様
- 面川照徳 様 水口末野 様
- 有吉盛禮 様 池戸陽一郎 様
- 小池 様 原義晴 様
- 森元正雄 様 小茂田春江 様
- 河本千恵子 様 中浦富子 様
- 増田敏宏 様 山本 様
- 荒木良子 様 新谷つち 様
- 池戸博介 様 岡本とぎ子 様
- 柳浦さわ 様 志牟田一重 様
- 西條光蔵 様 西田初子 様
- 清家寿郎 様 木口ふみ 様
- 安達かをろ 様 吉浦秀次郎 様
- 原野 様 以上 様
- 川上彦夫 様

（駅弁東西）

イタリアで駅弁を食べていたという  
すかと、不思議そうな顔をする。  
イクリアの駅弁は小さな手提げの紙袋  
にはいって、パン二種類、チーズ、  
鶏のモモ焼き、ハム、スバゲッティの煮  
込み、それにリングー個とブドウ酒が一  
瓶ついている。トリのモモとスバゲッ  
の煮込みはホカホカとあたたかい。  
豪華ではないが豊かな気分になる駅弁  
である。それにくらべると、日本の駅弁  
は悲しくなるほどわびしい。さいはての  
車内で食べるときは旅愁を感じていいも  
のだが、華やかな新幹線で食べるときは  
チグハグワにとまとう  
底の浅い繁栄と人間性を無視した高度  
生長の慢画的光景である。  
漫画家 鈴木義司

私のペンネーム

（作家）新章文子

ペンネームをつけるに当って、私はこ  
の名前がシンシヨウ、フミコと読んで  
うえると信じて疑わなかった。  
ところが、どういうわけか、そう読ん  
下さる方は十人中、一人あるかなしで、  
胎どの方がシンシヨウ、アヤコと読んで  
下さる。シンシヨウ、フミコよりも女ら  
しい情態があつていいじゃありませんか  
、いっそうそう読むようにしたらという  
編集の方の意見もあつて、いささか迷  
たけれども、私はどうも女らしい情態に  
抵抗を感じるので、  
また林扶美子にあやかりたい気持もあ  
つて文字という名を選んだのだから、私  
としてはやはり初心を覚えたのである  
と、それにしてはどうして文字がアヤコと  
読まれるのか、若尾文子さんの名が行き  
わたつて、いるせいとしか思えない。

最近マングに流行するもの

「一食」一年前銀座四丁目に開店した  
ハンバーガーの店（マクドナルド）はぐんぐん元  
行きを伸ばし当初の二倍。1個80円。一人  
二個と飲むのが普通。立食いの快適さが  
あつちゆる年輩や他の食物に位橋中、ノ  
長髪の衰え

散髪は四年前頂から減る。20日に1度  
来入人が今は50日に一度。以前には一日  
客が百人の日もあったが、二五にまで減  
ったが、連合赤軍事件以来長髪が嫌がら  
れて、今では、長髪族はだんだん少くな  
りつつあるとのことだ。



項目	気温 °C	湿度計 °C	湿度 %	最高気温	最低気温	降雨量 m.m	風向	天候	雲量
1	26.0	22.0	66	29.5	16.0		N	○	2
2	22.0	20.0	80	28.5	17.0	16.5	N	○	8
3	28.0	18.0	100	26.5	15.0	26.5	E	○	8
4	22.0	20.0	80	22.0	14.0		E	○	
5	24.0	21.0	72	27.0	15.0		S	○	
6	24.0	20.0	52	29.0	14.0		E	○	
7	24.0	20.0	52	28.0	15.0		N	○	2
8	26.0	22.0	66	27.0	16.0		N	○	
9	25.0	20.0	58	30.0	15.0		N	○	
10	26.0	19.0	46	34.0	13.0		N	○	
11	26.0	21.0	58	30.0	12.0		E	○	3
12	25.0	22.0	73	30.0	13.0		N	○	
13	26.0	20.0	56	29.5	11.0		N	○	
14	26.5	21.0	55	30.0	12.0		E	○	2
15	27.0	20.0	47	29.0	10.0		E	○	
16	23.0	18.0	56	30.0	14.0		W	○	7
17	22.0	20.0	80	27.0	16.0		W	○	7
18	18.0	16.0	78	27.0	11.5		W	○	6
19	22.0	18.0	63	24.0	13.0		E	○	6
20	24.0	19.0	57	28.0	14.0		E	○	2
21	23.0	20.0	72	29.5	17.0		N	○	5
22	11.0	10.0	68	19.5	8.0	2.5	W	○	8
23	15.0	12.0	66	14.0	4.0		W	○	3
24	20.0	17.0	74	20.0	3.0		S	○	2
25	21.0	15.0	47	25.0	7.0		E	○	
26	24.0	18.0	50	26.5	6.0		E	○	2
27	19.0	17.0	79	28.0	13.0	1.0	S	○	7
28	11.0	10.0	86	21.5	4.0	6.0	W	○	8
29	17.0	12.0	50	18.0	2.0		W	○	2
30	20.0	15.0	53	22.0	3.0		E	○	
31	22.0	16.0	48	26.0	4.0		S	○	
合計	579.5	559.0	200.5	816.0	347.5	52.5			
平均	21.0	18.0	64	26.3	11.2	1.6			

# Aviso de Cine Bartos

八月二十六日(日)九時半 二十七日(月)八時  
 東映新 網走番外地 高倉健 谷隼人 岡田ます子  
 天然色 (吹雪のはぐれ狼) トレントコートとバツと眠る雪に糸シツ白鶴一本ノまてましたと声かどぶノ  
 八月二十八日(火) 二十九日(水) 両夜とも八時  
 東映 配給終 超高層のあけぼの 池部良 木村功 松本幸四郎  
 天然色 地震と台風の日本に初めて誕生した超高層「霞ヶ関ビル」建設物語り堂々三時間、一部、二部、一部、一部に上映ノ  
 地上147メートル、驚異の36階建設はかくて成った、シウ人間の凱歌をうたいあげる感動のスペクタクルドラマノ  
 八月三十一日(金)八時 九月一日(土)九時半  
 日活 女の敬言察 小林旭 有島一郎  
 天然色 脂のしたたりと夜ごとの情事、問題を呼んだ話題片鷹のホステスたちの生感ノ  
 九月二日(日)九時半 三日(月)八時  
 東宝 無法松の一生 三般敏郎 有島一郎  
 天然色 四方の恋を一途にノ乱れ打つ無法松の祇園太鼓ノ  
 九月四日(火) 五日(水) 両夜とも八時  
 東映 戦後最大の賭場 鶴田浩二 藤田佳子 高倉健  
 天然色 日本博徒の頂点に戦を挑む義兄弟、鶴田と高倉ノ  
 九月七日(金)八時 八日(土)九時半  
 東宝 混血児リカ 青木リカ 宗田マサニ 津嘉山正雄  
 天然色 アメリカの血が肉体を...日本の血が根生を...マクサゴロツキ蹴り上げて、タトゥールのリカ行ク